

検討の観点と内容の特色

『高等学校 古典B 古文編』 『高等学校 古典B 漢文編』

発行者番号・略称	教科書の記号・番号
15 三省堂	古B 304・305

A5判，古文編248ページ・漢文編176ページ

編集代表：中瀬正堯・岩崎昇一

< 1. 内容 >

- ①全体をとおして、古典としての古文と漢文を読む能力を育成する適切な内容であり、学習指導要領の教科の目標を確実に達成することができる。
- ②各ジャンルのオーソドックスな教材を豊富に採録している。また、文法・句法についても適切にまとめられており、着実に「古典を読む能力を養う」ことができる。
- ③教材は、幅広いテーマから、生徒の関心を引く話題や主体的に考えられる話題が取り上げられており、生徒が意欲をもって学習に取り組み、「ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める」ことができる。
- ④「古典の扉」は、作品の時代背景や文学史的展開、日本での漢文受容のあり方などが平易に解説されており、作品理解を深めるのに役立つ、「古典についての理解や関心を深める」ことができる。
- ⑤見返しや付録には、さまざまな学習活動で活用できる資料が掲載されており、生徒の教材理解、言語活動を支えるものとなっている。

< 2. 構成・分量 >

- ①古文編・漢文編の2分冊構成であり、多様かつ柔軟な指導が実現できる。また各分冊は、第一部・第二部の二部構成となっており、2か年での履修にも対応している。
- ②教材の配列と分量は、生徒の発達段階が配慮され、適切なものとなっている。
- ③教材数が豊富で、学校の実態に応じた多様で柔軟な指導が実現できるように配慮されている。
- ④教材は、各ジャンルがバランスよく収録・配置され、古典を読む能力を確実に養うことができる。
- ⑤教材は、文学史的展開に配慮してバランスよく収録・配置されており、言語文化の変遷について理解を深めることができる。

< 3. 表記・表現、及び指導上の工夫 >

- ①脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。さらに、内容理解の手がかりとなる箇所には、脚間が示されており、授業展開に資するものとなっている。
- ②古文教材では、意味や用法に注意して身につけておきたい語句は、脚注欄に抜き出して見開きごとに整理してあり、語彙を定着させるのに有益である。
- ③漢文教材では、基本句形を見開きごとに整理してあり、さらに、巻末付録の「漢文の基本形式」で全ての基本句形を例文とともに整理してあるので、句形の学習において利便性が高い。

- ④「学習の手引き」には、古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解し、かつ内容を構成や展開に即して的確に捉えることのできる課題が、教材に即して適切に設定されている。
- ⑤「学習の手引き」には、さまざまな言語活動をとおして、古典の中の思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにし、かつ読み味わって、作品の価値について考察することのできる課題が、教材に即して適切に設定されている。
- ⑥見返しや付録には、さまざまな学習活動で活用できる資料が掲載されており、生徒の教材理解、言語活動を支え、多様な言語活動が展開できる。
- ⑦写真・図版の使用が適切である。カラー図版・カラー写真が豊富に用いられ、視覚的な学習効果を高めるとともに、生徒の興味関心を喚起するものとなっている。

< 4. 印刷・造本上の配慮 >

- ①活字・写真・挿絵は鮮明で、かつレイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。
- ②図の色づかいなどは色覚特性に配慮したものとなっており、また、用紙が落ち着いた色あいでも光の反射も抑えられているため、読みやすい紙面となっている。
- ③製本は堅牢である。
- ④環境にやさしい用紙と植物油インキが用いられており、地球環境や資源への影響も考慮されている。